

熊本県で農業をやってみたい人

農業研修生募集中です。

農業を新たに始めてみたいと希望される人々に実践的な農業研修を行い、地域農業の担い手となる人材の育成を図る目的で、平成23年度「熊本県JA農業インターン事業」を下記内容により実施します。ふるって応募ください。

募集期間

平成22年12月1日(水)～平成23年1月28日(金)

募集対象者

熊本県内において新たに農業に就き、経営開始を目指す人で下記の条件を満たす人

- ①年齢 18歳～55歳
- ②就農希望地に住民登録を行うこと
- ③就農希望地を管轄するJAの組合員になること

募集人員

30人程度

研修期間

1年間(平成23年4月～平成24年3月)

研修内容

- ①農業実習(農家等での栽培技術、農業経営、農村文化についての研修)
- ②集合研修(JAグループ・熊本県等が実施する農業の基礎知識についての学術研修)
- ③JA実習(JAが取り組む各事業の体験研修)

研修手当

月額135,000円(諸手当等すべて含む)

ただし、住居を一にする夫婦、兄弟姉妹などについて2人雇用の場合は月額110,000円(諸手当等すべて含む)

選考方法

書類審査による1次選考を実施し、合格者に対し面接審査を実施のうえ決定

申込・問い合わせ先

JA熊本中央会・連合会 営農生活センター(担当 内田・江藤)

住所 〒860-0842 熊本市南千反畑町2-3

☎096・328・1027 FAX 096・328・1031

メール nou-intern@jakumachu.jp

救急車の適正利用のお願い

救急車の出場件数は年々増加傾向にあり、全国的に見て平成10年は370万件であったのが、平成20年では510万件と約**38%も増加**しています。

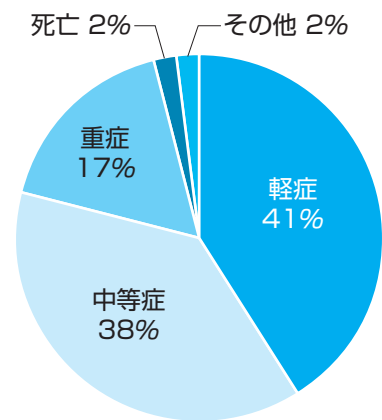
出場件数増加に伴い、救急活動にも支障がでており、救急隊の現場到着所要時間は全国平均7分42秒で10年前より**1分42秒長くなり**、病院収容時間は平均35分で同様に**8分18秒長くなる**など、遅延傾向にあります。

また、救急車で搬送した傷病者の傷病程度をみると、当消防本部では、平成21年では、約**41%**は医療機関で処置を受けたあとすぐに帰宅できる**軽症者**でした。（円グラフ参照）

救急車は、いつどこで発生するかわからない重症傷病者の搬送に備えており、要請があれば最善を尽くして現場に早く到着しようと努力しています。

しかし、中には

「救急車で病院に行った方が順番を待たずに受診できる」
「病院へはタクシーでも行けるけど、救急車が無料だから」
「病院へは自分でも行けるけど、
どこの病院に行けばいいかわからなかった」
「症状は軽いけど、とりあえず救急車が手っ取り早いから」



などの不適切な理由により救急車を利用している人もいます。

このままでは、本当に緊急処置、病院への搬送が必要な重症傷病者のもとへ救急車の到着が遅れ、助かる命を救えなくなる可能性もあります。

緊急に医療機関へ搬送する必要がある傷病者の尊い命を一人でも多く救うため、真に救急車を必要とするときに利用するようご理解とご協力をお願いします。」

有明広域行政事務組合消防本部
救急課 ☎0968・73・5283 FAX0968・74・0030

～ 協 力 依 頼 ～

有明消防本部では、119受信からいち早く火災救急現場などを特定するために、地図データを常に最新の状態にしておく必要があるため、平成23年3月まで情報収集のために各市町を巡回調査しておりますので、ご協力をお願いします。

なお、制服等を着用していない女性の職員が調査を実施しておりますが、必ず名札を着用しておりますので何かご不明な点などがありましたら消防本部総務課0968・73・5272まで照会していただきますようお願いいたします。